



江ノ島



No.84

平成22年9月1日発行

たるみず

# 市議会だより

平成22年第2回定例会

- 一般質問 ..... ①～⑦
- 議案等の審議結果 ..... ⑦～⑧
- 議員表彰 ..... ⑧

発行／垂水市議会  
編集／垂水市議会だより編集委員会  
鹿児島県垂水市上町114番地  
Tel 0994-32-1111 (358)

# 一般質問

平成22年第2回定例会は、6月7日から6月25日まで19日間の会期で開かれ、15日・16日の本会議で13人の議員が一般質問をおこない、うち11人より“市議会だより”の原稿提出がありました。

- 紙面の都合により主な項目について、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。
- 掲載の順番は質問順（質問通告書提出順）です。
- 詳細につきましては、図書館・両支所・各地区公民館・市役所2階の情報公開室にあります“会議録”をご覧ください。  
※本市のホームページでもご覧いただけます。（会議録は9月上旬より閲覧できます。）



## 若者議会の設置が地域活性化のカギを握るのでは！

大藪 藤幸 議員

### 問

若者議会の提案について。客観的に地域の魅力を指摘できるよそ者、既成概念にとらわれない柔軟なアイデアを提供できる若者、損得を考えず突っ走ることができればか者この「よそ者、若者、ばか者」三者がこれからの地域活性化のカギを握ると言っても過言ではないと思う。我々が気づかなかつた垂水の魅力や課題を提示してくれる若者議会の創設について考えを伺いたい。

### 答

若者を生かす意見を吸い取るといふ意味では非常に大事だと思ふ。本市でもカレライスを食べる会を実施した際、斬新な意見が出たのも事実である。若者がどういふ意見を持っているのか今後、行政の中でも注視しなければならぬ。若者が意見しやすいような方法、また開催日程等（土日開催）、要綱等の作成など課題もあるが何ができるのか検討してみたいと思ふ。

### 問

家庭介護者への支援策について伺いたい。

### 答

家庭介護者への支援の具体的な取り組みとして、在宅寝たきり高齢者等に対し、紙おむつの現物支給や介護家族におむつの使用方法等の相談教室、また寝たきり高齢者等への介護家族に対して在宅介護手当の支給を行っている。支給手当額は寝たきり老人等の一日の介護に要する時間、日常生活自立度及び日常生活動作状況等に応じて7万円、4万円、2万円、1万円の段階に分けて支給し、介護者の軽減負担を図っている。さらに介護者家族の訪問指導、介護に対する不安や負担に対する相談、介護教室、介護者の健康に対する健康指導、また介護者や介護家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために傾聴ボランティアや認知度サポーターなどを養成しているところである。今後モボランボランティアの人員を増やし対応していきたいと考えている。

### （その他の質問事項）

○コミュニティバス運行について



## 子ども手当スタート！給食費等滞納対策に…？

池之上 誠 議員

### 問

民主党政権マニフェストの目玉でもある、財源なきバラマキ政策と悪評の高い「子ども手当」が4月1日より施行され、垂水市でも6月10日に支給された。施策実施にあたり、具体的内容、児童手当・所得税扶養控除等と与える影響について伺いたい。また、滞納給食費や滞納保育料等の滞納世帯に対し、「子ども手当」からの相殺支給とする徴収対策をとる全国の自治体もあり、文科省も類似する通知を出している。一連の動きの内容と、本市の取り組みについて伺いたい。

### 答

従来の児童手当（国・県・市負担）の差額分と、所得制限を受ける世帯の子ども、及び中学校1年から3年生までの子どもたちにも全額国庫負担の月額1万3千円を支給する制度であり、年3回に分けて支給する。本市の6月支給分は、対象912件、4,041万7千円を支給した。また、税務関係の影響として、平成22年度地方税制改正により、年少扶養

控除33万円が廃止、特定扶養控除部分45万円が高校授業料無償化制度で、上乗せ分12万円減額となり、所得税・市県民税ともに課税所得が増額となると考えられる。滞納世帯に対する徴収対策として、保育料については、従来、児童手当からの納付をお願いしており滞納世帯はない。今後も子ども手当からの納付をお願いする。給食費については、平成21年度決算で、未納額118万7,030円である。文科省通知は、給食費徴収対策として、子ども手当創設に伴い、保護者の理解と協力を得るための周知の努力をすることと、引き落とし口座等を同一にする方策等を提案している。他自治体では窓口相殺等の踏み込んだ行政による徴収対策もあるが、本市も、より研究を重ね、保護者に失礼のない様に教育委員会がリーダーシップをとり、学校長と連携して給食費徴収対策を進めていきたい。

### （その他の質問事項）

○垂水中央中学校の現状



がらっぱ公園

## 危機的財政状況は脱出！



北方 貞明 議員

### 問

学校の安全対策について。今年4月8日に、霧島市溝辺町の小学校で児童が校舎屋上の天窓から転落し、頭蓋底骨折のけがを負った事故は、以前、東京杉並区での小学生転落死亡事故の教訓が生かされず起きた事故である。本市では、学校内での施設危険個所の把握はできているのか。また、垂水小学校、正面玄関入口付近の古井戸の安全対策は、今後どのような対策を行うのか。

**答** 霧島市で起きた天窓からの児童転落など他市で起きた事故とは考えにくく、屋上への階段などの状況を再度確認、点検を直ちに実施した。また老朽化等による施設内の危険箇所等についてはある程度は6月補正で措置していただいたが、まだ十分ではなく、各学校からの状況を再度確認し、優先順位をつけながら施設の安全管理に努めたい。垂水小学校の正面玄関の古井戸は、非常に難しい問題であるが、安全面では毎月学校側が点検している。いま危険であるという

事ではないが、この井戸を水源として子供達が育ってきた大事なものであるので情操教育の面からもどのように守っていくのか検討したい。

### 問

市の財源について。財政調整基金積立残高は、平成17年度に2億3千万まで落ち、平成21年度は、基金残高6億1千万まで回復、地方債残高平成16年度は126億、平成21年度は106億で20億削減できた。以前財政調整基金は5億あれば安心できると答弁されたが、6億を超えた現在、財政面では安心できるのか。

### 答

財政調整基金は平成17年度末と比較で約2.6倍の3億8千万の増となった。地方債残高は、平成16年度末に対して20億減となり、市民一人当たり11万の借金が減った。一時の危機的な財政状況は脱しつつある。今後の目標は財政調整基金積立額7億、地方債残高は90億まで削減したい。

### (その他の質問事項)

- 狂犬病予防接種について
- 口蹄疫について

## 本市の介護施設と単身高齢者の現状は



田平 輝也 議員

### 問

少子化高齢化が急速に進展している中、本市の高齢化率は34.72%で県内でも上位であり、寝たきり老人を抱える世帯が年々増えている状況である。介護施設に入所したくてもなかなか入所が難しいと聞くが、現在の介護施設等への入所者数と待機者数など、また単身高齢者世帯の現状について伺いたい。

### 答

現在の介護施設等への入所されている人数は、恵光園、コスモス苑、温泉病院などと市外の施設を合わせて225名が利用をされている。このほか、居住系のグループには57名、養護老人ホーム華厳園に56名が利用されている状況である。待機者数については、恵光園が98名、コスモス苑15名、温泉病院・東内科が11名、グループホームが18名、華厳園が41名の計183名という状況になっている。また、ひとり暮らしの高齢者は市内全体で1,781世帯、5年間で450世帯と増えてきている。今後、孤独死、などが発生し

### 問

給食センターについて。市民代表の行財政改革推進委員会の意見が民営化すべきとのことであったが、すでに5年が経過している状況である。本市の給食センターは現在、正職員12名、臨時職員5名体制で運営しているが、県内の類似するところに比べるとどうなのか、また、いつまでも結論を長引かせるのはそこで働く職員の方も大変だと思うが、今後の方針について伺いたい。

### 答

本市の1日の給食数は1,326食、山川給食センターが1,302食で正職員3名、臨時職員10名体制。伊佐市が1,651食で正職員1名、臨時職員8名、代替職員5名体制である。行財政改革の一環として計画をしているが、民間委託して財政的な効果がどうなのか今後、さらに検討を進めていきたい。

### (その他の質問事項)

- 振興会の限界集落について



猿ヶ城バンガロー



## 口蹄疫対策をしっかりと！

川畑 三郎 議員

**問** 宮崎県で4月に発生した口蹄疫は、終息することなく、都市にも飛び火したが、口蹄疫の発生状況と防疫対策について伺いたい。

**答** 口蹄疫の発生は、過去の発生と比べ感染力が非常に強く、6月14日現在で、殺処分対象の家畜は約19万6,000頭となっている。初動態勢のおくれと埋却地の確保等に時間を要し、防疫措置のおくれが要因ではないかと言われている。対策として口蹄疫対策特別措置法が時限立法として、平成22年6月4日に施行された。内容については、車両等の消毒義務、患畜などの死体埋却の支援、蔓延防止のための患畜以外の家畜の処分等に関するの勧告、国による費用の負担に関する事、家畜の生産者等への経営再建等や税制上の措置などが講じられている。

**問** 中山間地域等直接支払い事業の概要と新制度について教えてください。

**答** この事業は平成12年度

より導入され、平成17年度からは第二期対策が実施された。平成22年度からは第三期対策が実施される。制度的には従来とほとんど変わりはないが、高齢化が進行している中で、高齢農家の振興にも十分配慮した、より取組みやすい制度に見直しされたところである。

**問** 養殖漁業に係る経費と漁業の現状について伺いたい。

**答** 養殖漁業の生産コストの要である配合飼料や生エサは、今年度より、魚粉の価格が高騰しており、配合飼料が高騰し始めている。生エサの価格も、サバ・イワシ等の漁獲不振で次第に高騰してきている。また、漁船の燃料費についても少しずつ上昇してきているため、油断のできない状況にある。このような中で、ブリについては魚価低迷が続きカンパチについては、販売価格が上昇しており、このままの価格で推移してほしいと願っている。



## 農作物の鳥獣被害に猟友会の巡回活動を増やせないか？

森 正勝 議員

**問** 垂水市の鳥獣による農作物への被害額とその防止対策事業及び予算額について説明をお願いしたい。

**答** 平成21年度の本市における鳥獣による農作物への被害額は158万4,000円。しかしながら実際の被害額はまだまだ大きくなる。被害防止対策については、市民から鳥獣による被害情報が入り次第、直ちに猟友会に連絡をとり、捕獲依頼をお願いしている。市猟友会の方々には定期的に巡回してもらっているが、今年度は牛根地区においてヒヨドリ等の被害が大きいことから、5月11日に、各支部からメンバーを募り、会員15名による一斉捕獲を実施していただいている。また県においても猿被害対策の参考とするため、猿に発信器を取り付け、活動範囲などの動態調査を行うこととしている。

平成22年度の予算額として、電気さく設置費が69万2,000円、捕獲用のおりの費用として33万8,000円、鳥獣捕獲補助金として

165万3,000円を計上している。

**問** (株)財宝によるロードスイーパー等の寄贈と、鹿児島市からの譲渡による本市におけるきめ細かな降灰除去対策について伺いたい。

**答** 本市における発注工事としての路面清掃は、活動火山対策特別措置法による国庫補助事業として市道のみが対象とされており、大型車の対応路線を3つの工区、小型車対応路線を2つの工区、歩道については人力清掃として2つの工区、計7つの工区で市内の業者へ発注している。発注工事以外については、5月より土木課所管の維持班を環境整備班として6人から7人へ増員されており、市道以外の公設市場であるとか、漁協施設の広場、これらの公共施設等にも対策を行っている。

寄贈の車両も、農道あるいは狭い集落道、歩道清掃等きめ細かな対応に期待している。



上松原振興会七夕

## 最近報道されている 持ち家手当について



池山 節夫 議員

**問** 成年後見制度は、判断能力が衰えた人の為に、財産を管理したり、賃貸借などを代行したりする後見人を置く制度であるが、介護や医療サービスを提供する事業者が、施設入所や手術などの際にトラブルを恐れて成年後見制度を活用を自治体に求めるケースが増えていると聞く。首長申し立てについての現状と後見人報酬の助成についての見解を伺いたい。

**答** 成年後見制度を利用するには本人、配偶者、四親等内の親族、任意後見受任者が家庭裁判所に申し立てるもので、申し立てを行う親族がない場合は市町村長ができることになっている。次に後見人報酬の助成については、一件月1万円の一年分の2件分を後見人報酬として、弁護士費用を一回1万円、4回、2件分、後見人申請手数料一件15万円を2件ほど予算化しているところである。

**問** 全国学力テストについて。全校参加から抽出調査にしたことで、国は約25億円を節約した

が、これは高校授業料無償化の実現の為の財源確保が目的ではないかと推測される。全校参加から抽出方式になったことでの問題点や今後の課題について教育長の見解は。

**答** 全校対象ではないので、市全体としての結果が把握できないことが挙げられる。財政的なものがあるなら、隔年置きか2年置きに全部やってほしいというのが私の個人的な見解である。

**問** 市職員の住居手当について。最近報道されている持ち家手当について、内容と今後の対応について教えていただきたい。

**答** 住居手当については、持ち家に対するものと賃貸住宅に対するものがある。昨年の人事院勧告では、この持ち家部分の住居手当について廃止すべきとなっており、本市においても廃止を前提にして、いま、検討している。

### (その他の質問事項)

○子宮頸がんワクチンの公費補助について

## 人事問題は公平で公正、かつ 透明性をもって対応を！



持留 良一 議員

**問** 早期退職者が福祉団体に就職された。職員時代の経験を生かして新たな職場力を発揮されることは大変良いことと思う。ただ市民の方々からも若者を雇用する必要性や市との関係はどうなっているのかと声が寄せられている。市とどのような関係にあるのか伺いたい。

**答** 華厳園については老人福祉法で市が入所を委託している。シルバー人材センターは国と市の補助金により運営されている。社会福祉協議会は市の補助金団体でもあり、住民の参加、各種団体との連携等福祉活動や事業を推進する中核的役割を担う団体である。就職との関係では、華厳園は園側より施設長として資格を有する方がいないか相談があったので推薦した。シルバー人材センターは、事務局長について福祉行政も経験している適任者はいないかと相談があり、推薦させてもらった。社会福祉協議会は、事前に前任者の退職者の情報があり、運営の面で特に市との連携を密にしていかなければならない団体

であり、市の方から相談をさせてもらい、福祉行政の経験者を推薦した。いずれの団体においても市長の任命権はないわけであり、それぞれの団体において理事会及び総会で承諾され採用となっている。

**問** 市営住宅で住宅(定住促進)によって負担区分の違いがあり入居者の不平等をつくり出している。対策の必要性について伺いたい。

**答** 定住促進については、運営形態も従前のままとし修繕料の負担は課せてない。浴槽やガス釜も市の所有物となっている。市営住宅と同様の運営ができない理由は、定住促進には公営住宅法が適用されない。市営住宅は一般的に安い使用料設定や各種制約があることから同一の扱いは難しい。両住宅とも維持管理に努めていく。

**(その他の質問事項)**

- 予防医療と予防接種
- 必要な介護対策
- 非正規職員の待遇改善
- 桜島噴火対策と震災対策
- 中央地区の排水問題



刀剣山



## 利灰に関する新しい技術開発、普及、推進の考えは！

宮迫 泰倫 議員

**問** 降灰の軽減というのは産業の振興にも当たると考えている。それから市民の生活もだと思っている。それは降灰の軽減と克灰と利灰も一緒だと思う。そういうことで、産業の振興と市民の生活が今までのやり方で良いのか、今後どうしたら良いのか見解を伺いたい。

**答** おっしゃるとおりだと思います。本当に克灰・利灰ということは今後は、いろんな立場のひとからいろんな意見と知恵をいただきながらアイデアを出していく必要があると思っっている。もう一つは、全国に11の活火山があるが、桜島がその中で一番活動しており、桜島を中心とした周辺地域に垂水市だけではなく、その辺との連携も今後必要だと最近考えているところである。湾奥の鹿児島市、始良市、霧島市、垂水市で一つのグループをつくる動きもある。そういう中でもこのような問題も取り上げるのも一つの方法だと思っっている。いずれにしても前向きに取

り組んでいかなければいけないと考えている。それからまた、この豪灰は20年ぶりに本市に大きな影響を及ぼした。これをチャンスとして生かして、いろんな訴えをしていかなければということで、各課長、担当職員も取組んでくれた。その結果、県がいままでにならぬ対応をしてくれたのも事実であり、そういう県、国への要望等もこのチャンスにやはりしっかりと、やっていかなければならないと思っっている。

議員がおっしゃるように、本当に生活にも経済面にもいろんな影響を与えているので、今後また議会ともども一生懸命、この克灰、利灰については取組んでいきたいと思っるので、御理解、御協力を賜りたい。



## 閉校後の施設を生かして地域に活気を！

堀添 國尚 議員

**問** 牛根・新城地区の市営住宅を充実し、人口増につなげて地域の活性化を図れないか。

**答** 牛根・新城方面の住宅は非常に貧弱な状態で、何とか今後考えていかなければいけない問題の一つだと思っっている。特に両地区は高齢化率が高く、若者は少ない。子供を持った方々が定住していただくような住宅の建設が必要ではないかと考えている。定住促進を図るにはいろいろな要素が必要であるが、その中で一番大事なのはやはり雇用先だと思っ思う。鹿屋・国分に30分ぐらいで行けて自然豊かな垂水市に住んで、雇用はそちらというようなことも考えられる。古い市営住宅の改修問題ともひっくるめて、今後、市営住宅や定住促進住宅はどうしていくのか、計画プランを作成して、それに沿った持続的なものを求めていく必要があると思っっている。

る。牛根にもグループが複数あるが、要望に応えられないか。

**答** 今後の閉校3校の跡地利用や維持管理体制をいかにするか、経営会議の中で議論したところである。結論ではないが、概要としては、跡地利用に関する協議会を市役所内に設け、地域にも地域住民の意見を吸い上げる会議を設置し、今後の跡地問題を検討していきたいとの認識で一致した。旧牛根給食センターについても、この会議の中で検討していったらと思っっている。

**問** 乗り合いタクシーの充実について。牛根岳野地区から足の確保を望む声がある。調査して改善できないか。

**答** 牛根岳野は交通の便が非常に悪い状況である。高齢化が進む中で、中山間地域における高齢者等の交通手段の確保は重要な課題であり、調査を実施し対応策を検討したい。

**問** 旧牛根給食センターの再利用について。水之上、猿ヶ城の活性化施設までは遠く不便であ



猿ヶ城溪谷



**柘原地区国道拡幅工事の  
早期完成を！**

篠原 静則 議員

**問** 元垂水原田線の道路改良

工事は野久妻集落まで行った後、次は元垂水の国道側から工事が計画されていると聞いたがそのように理解して良いのか。また、原田地区から2車線でスタートして集落手前で1・5車線の施工になっているがなぜか？

**答** 県道から野久妻までの整備は来年度に完成予定。次の整備計画では平成24年度より元垂水の国道側から4、200mについて計画している。

当初は2車線で計画していたがコスト削減や整備のスピードアップを図るため、1・5車線の道路整備の積極的な導入の運用が求められるようになった。また、この地区においては地滑り災害を受けるなど、2車線化による大幅切削等が二次災害の要因となることも懸念されたため変更した。変更に当たり用地費等を含む工事の縮減、整備の早期促進等の観点から

地区住民への説明会も開催し、大多数の方から賛同をいただき、平

成21年度から1・5車線で整備を進めている。

**問** 国道拡幅について、柘原

地区では用地交渉も順調に進み住民から早く工事に入ってほしいという要望があるが今後の計画は？

**答** 延長5、800mの工事で昭和58年から整備され平成21年度までに5、100mが整備済みで進捗状況は88%。整備が長期に及んでいるために当然早期の完了をお願いしている。所管の国土交通省においても地元からの要望があり認識はされているが、現状の用地取得状況が延長的に連続して

いなかつたり、あるいは片側のみだけの取得済みであるということなどから、計画的な工事発注が難しい状況である。市としても用地取得や地元調整などに積極的に協力し、より一層の早期推進を図れるように常に要望している。

**（その他の質問事項）**

○防災無線について

**平成22年第2回定例会に付議された事件審議結果一覧**

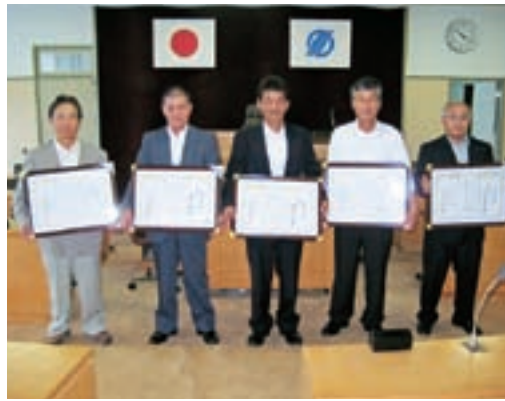
| 番  | 号    | 件   | 名 | 審査結果 |   |
|----|------|---|---|------|---|
| 報告 | 第2号  | 専決処分の承認を求めることについて（垂水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） |   | 承認   | ※ |
| 報告 | 第3号  | 専決処分の承認を求めることについて（垂水市税条例の一部を改正する条例）       |   | 承認   | ※ |
| 報告 | 第4号  | 専決処分の承認を求めることについて（平成22年度垂水市一般会計補正予算（第1号）） |   | 承認   |   |
| 報告 | 第5号  | 専決処分の承認を求めることについて（平成22年度垂水市一般会計補正予算（第2号）） |   | 承認   |   |
| 議案 | 第39号 | 垂水市水力発電施設周辺地域交付金基金条例を廃止する条例               | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第40号 | 平成22年度垂水市一般会計補正予算（第3号）                    | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第41号 | 平成22年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）              | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第42号 | 平成22年度垂水市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）              | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第43号 | 平成22年度垂水市介護保険特別会計補正予算（第1号）                | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第44号 | 平成22年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）              | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第45号 | 平成22年度垂水市水道事業会計補正予算（第1号）                  | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第46号 | 垂水市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例               | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第47号 | 平成22年度垂水市一般会計補正予算（第4号）                    | 案 | 原案可決 |   |
| 議案 | 第48号 | 平成22年度垂水市と畜場特別会計補正予算（第1号）                 | 案 | 原案可決 |   |

|      |      |   |      |
|------|------|---|------|
| 議案   | 第49号 | 平成21年度垂水市水道事業会計決算認定について                 | 継続審査 |
| 議案   | 第50号 | 平成21年度垂水市病院事業会計決算認定について                 | 継続審査 |
| 意見書案 | 第27号 | 口蹄疫発症に伴う防疫対策の強化及び畜産経営安定対策の充実を求める意見書 (案) | 原案可決 |
| 請願   | 第1号  | 桜島口交差点に信号機設置を求める請願                      | 採択   |
| 陳情   | 第21号 | 快適な生活環境を守るために養豚場の移転を要望する陳情について          | 継続審査 |
| 陳情   | 第22号 | 垂水市議会議員定数削減について                         | 継続審査 |
| 陳情   | 第25号 | 住民の生活基盤を支える県土防災と建設業振興を求める陳情書            | 採択   |

※印は賛成多数 無印は全会一致

## 議員表彰

全国市議会議長会第86回定期総会において、本市議会議員5人が正・副議長職4年以上、議員在職15年以上で表彰されました。6月25日の本会議終了後、議場において表彰伝達式が行われました。



表彰者(右から)

- 川尻達志 議員
- 宮迫泰倫 議員
- 徳留邦治 議員
- 篠原静則 議員
- 川畑三郎 議員

## 編集後記

梅雨と言えばしとしと降り続く雨を連想しますが、近頃は熱帯地

域特有のスコールのような雨や時にはバケツをひっくり返したような雨が長時間降るようになりまし。今年は平均雨量と比べると九州南部では約2倍の雨量があったそうです。また、ひどい所では一日で100ミリを超える雨量も観測され、各地に甚大な被害が発生しました。ここ近年の雨量は異常であります。

本市でも過去に梅雨の災害を幾度も経験しております。過去の経験を生かしての自主防災組織(振興会単位)も結成されるようになりました。市民の防災意識も年々高まっているようです。今後も、市・議会・市民が一体となつて災害に強いまちづくり、安心・安全なまちづくりに努めていきたいものです。

## 市議会へ行くつ

平成22年第3回定例会会期日程

- 9月 1日 本会議
  - 9月 9日 一般質問
  - 9月 10日 一般質問
  - 9月 13日 産業厚生委員会
  - 9月 15日 総務文教委員会
  - 9月 17日 議会運営委員会
  - 9月 22日 本会議
- ※本会議は、市役所3階の議会傍

聴席にて傍聴できます。  
※委員会の傍聴は、委員長のご許可が必要です。  
※9月1日、9月22日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分から開会されます。

※市などへ意見や要望があるときは、だれでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合は必要ありません。なお、定例会前の議会運営委員会前日までに受け付けたものが、その会期中に審査されます。  
※陳情・請願の審査結果については、結論の出た陳情・請願は結果を郵送で回答します。結論が出ず、継続審査扱いとなった陳情・請願は連絡が行きません。  
日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。  
編集等についての御意見、ご感想等ございましたらお気軽にお寄せ下さい。

### お問い合わせは

垂水市議会事務局  
☎ 32-11111 (358)  
メールアドレス  
gikai@city.tarumizumi.jp